

CIGS エネルギー環境セミナー**「太陽活動がもたらす気候変動：長期予報、雷予測の可能性を探る」**

日 時	2019年9月6日（金）15：30－17：00（受付開始15：00）
会 場	キャノングローバル戦略研究所 会議室3 （東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル11階）
講 師	宮原 ひろ子（武蔵野美術大学 教養文化・学芸員課程研究室 准教授）
モデレーター	杉山 大志（キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）
言 語	日本語

講演概要

太陽活動が数十～数百年スケールの長期的な気候変動に影響を及ぼしていることが、様々なデータから示されつつある。加えて、太陽が日々の気象にも影響している可能性が見えつつある。落雷や雲量など、気象の長期予報は可能になるのでしょうか？

本セミナーでは、古気候データや気象観測データからどこまで分かりつつあるのか、また、今後の展望などについてお話する。

プログラム

15:30-15:35	趣旨説明 杉山 大志（キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）
15:35-16:30	講 演 「太陽活動がもたらす気候変動：長期予報、雷予測の可能性を探る」 宮原 ひろ子（武蔵野美術大学 教養文化・学芸員課程研究室 准教授）
16:30-17:00	質疑応答と討論 モデレーター：杉山 大志（キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）

講師紹介

武蔵野美術大学、教養文化・学芸員課程研究室、准教授。

1978年埼玉県生まれ長崎県育ち。2005年名古屋大学大学院理学研究科修了。東京大学宇宙線研究所特任助教を経て、2013年より武蔵野美術大学教養文化・学芸員課程研究室専任講師。2015年より現職。

主要著作：『地球の変動はどこまで宇宙で解明できるかー太陽活動から読み解く地球の過去・現在・未来』（化学同人 2014年）、『太陽ってどんな星？』（新日本出版社 2019年）